



ほんなこてゆたたり



文責 校長 平井 敏博

令和4年度教育目標 目指すは、“とことん学ぶ続け、とことん学び合う人”

“学びを止めない”



【靴箱指導の様子】

“学びは止まらない”



【初めての1, 2年生での下校】



【初めての給食 Part 1】



【初めての給食 Part 2】

新型コロナの状況は、予断を許さず、関係機関と連携を取りながら対応しているところです。感染防止対策も、手を抜けません。

しかし、一方で、“学びを止めない”ということも大事です。義務教育段階の、貴重な、貴重な時間を、無駄にするわけにはいきません。上に紹介した写真は、新一年生の教育活動の様子です。けっして、学びは止まっておりません。

学年閉鎖を行った3、4年生についても、この機会に、タブレットを使ったリモートの教育活動を試行してみました。もちろん、不具合も生じます。課題

も出てきて、保護者の皆様に御迷惑をおかけしたこともあつたろうと思えます。しかし、まず、やってみないと分からないところが、沢山あります。そのチャンスが、与えられたという捉え方もできます。

“学び”は、狭い意味で捉えられることも多いのですが、“学び”のない日常はあり得ないというような広い意味でも捉えることができます。特に、義務教育の期間において、広い意味の捉えも、大事にしたいと考えています。

大人も子どもも、必ず、日々の“学び”で成長しており、そこに楽しさや醍醐味があるという捉え方に、魅力を感じます。

学校になかなか足が向かないこともあるでしょう。いろいろな思いや考え方、感じ方をする人たちが一堂に集まるのですから、友達とのトラブルもあります。勉強や宿題が苦になることもあると思います。先生から注意されたことに、負担を感じることもあるでしょう。そこを、いかに子どもたちの“学び”に変えていくかが、大人の腕の見せ所（教師の腕の見せ所）ではないかと考えています。少しずつ、日々の教育活動で自信を付けながら、新たな問題・課題にもチャレンジできる人となって、義務教育を修了することを目指したいと思えます。

しかし、“言うは易く、行ふは難し”です。多良小学校に関わる人達全員で、それも、多良小学校職員メンバーが代わっても続く教育活動にしていこうとするなら、もっと、もっと難しいです。ただ、多良小学校だったらできるのではないかと思います。これまでのつみかさねを、4月から、ビンビン感じています。素直に育てている子どもたち、落ち着いた子どもたちです。その素地を、学校、家庭、地域で、しっかりと培ってきていただいたと実感しております。さらに、子どもたちを伸ばしていけるように、職員で知恵を絞り、力を合わせ、地道に、取り組んでいきます。

同感、共感していただける方々は、多良小学校職員に、どんどん声をかけてください。日常すべてにおいて、“学びを止めない”“学びは、止まらない”学校を目指したいと思えます。その体制を、創りあげていきたいと考えております。

敷地内、校舎内の花や緑のある風景

敷地内、校舎内に、花や緑のある風景は、実に、いいですね。それが、当たり前のように生活に溶け込んでおります。子どもたちは、特に、意識をしていないかもしれませんが、しかし、それが、貴重な教育環境にもなっていると思えます。これまで、手入れや管理をしていただいている方々に、感謝です。



※ 様子を、カラー写真でお伝え出来ず、申し訳ございません。学校のホームページにも、掲載しておきます。